

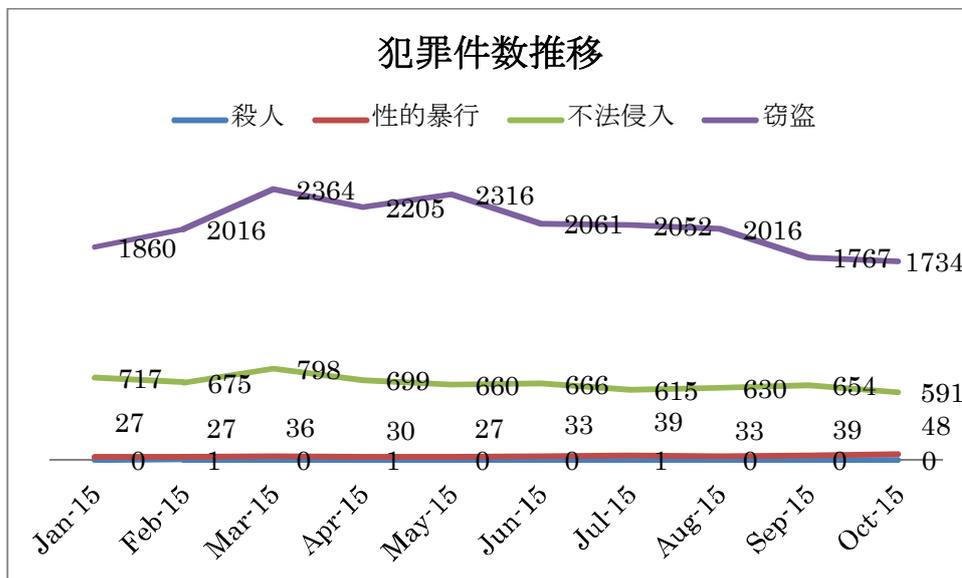
海外安全対策情報
2015年10月～12月

在オークランド総領事館

当館管轄地域に関する情報は下記の通りです。

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

オークランド警察が発表した犯罪件数の推移は次の通りです。



2 テロ・爆弾事件発生状況

(1) ニュージーランド国内には、テロ組織及び反政府武装勢力の存在は確認されておらず、国外のテロ組織と関連を有している勢力の存在も確認されていません。しかしながら、2014年11月、ジョン・キー首相はISILに関する講演の中で、「ニュージーランド国民は国際テロリズムの危機と脅威にさらされている」と発言しています。

(2) ニュージーランド政府は2015年2月にイスラム過激派組織ISILと闘うイラク軍の能力を高めるため143名の軍人派遣を決定しました。これに関連して、キー首相は「すでにISILはニュージーランドで要員のリクルートに成功しており、またニュージーランド国内では35～40名が監視対象となっている」旨発言しています。

(3) 2015年11月にパリで発生したテロ事件を受け、キー首相は次のように述べています。
「ニュージーランドは他国から地理的に離れていること及びインテリジェンス監視ネッ

トワークに加盟していることもあり、他国と比べ、テロリストから攻撃を受ける脆弱性は低い。しかしながらテロリストの間で行われる精巧な通信技術の高まりにより、その活動を探知することが困難な状況となっており、ニュージーランドがまったく影響を受けないという保障はない。政府はニュージーランド国民に対して、全力を尽くす責任を負っており、異常で不相当と考えるいかなる行動についても監視するが、その全ての情報を得られるという保証はない。」

(4) なお、現在ニュージーランドのテロ脅威度は『とても低い(6段階中下から2番目)』から『低い(6段階中下から3番目)』に一段階上昇しています。

3 主な犯罪事案(日本人が巻き込まれていない案件)

(1) A T Mスキミング・盗撮事件

10月から11月にかけて、オークランド・ノースショアやワイカト地方でA T Mのスキミング事件が複数発生した。スキミングとはカードの磁気情報を盗み取り(スキミング)、カードを偽造した上で、カード所有者の現金を盗み取ること。また、A T M付近に小型カメラを仕掛け、暗証番号を盗撮するケースもある。

警察は被害に遭わないよう、次を呼びかけている。

- ・暗証番号を押す際、手で覆って隠す。
- ・深夜の使用や暗い場所にあるA T Mの利用を避け、A T Mの使用自体も減らす。
- ・残高照会をこまめにおこなう。
- ・A T Mの使用前にA T Mを確認し、おかしいと思ったら銀行に申し出る。



犯罪者がA T Mに設置した、改造スロット(緑色部分)。犯罪者はこれを使って磁気情報を盗む。

(2) 脅迫 e-mail 事件

ニュージーランド警察によれば、最近脅迫 e-mail を受け取る人が増えている。E-mail は Syrian Electronic Army(SEA)を名乗るハッカー集団から送信され、「パソコンのファイルを失いたくなければ、または家族を殺されたくなければ、または家に火を付けられたくなければお金を支払え」といった内容。

警察は「現在調査中であるが、こうした e-mail を受け取ったら、firescam@police.govt.nz に e-mail を転送したり、警察に連絡してほしい」と呼びかけている。

4 主な日本人被害事案

ケース 1

場所 オークランド・ミッションベイ

被害者 30代女性

路上駐車していた車の中にバッグを放置していたら、窓ガラスを割られ盗難される。パスポート、クレジットカード、運転免許証などが被害に。

ケース 2

場所 オークランド・Viaduct のレストラン

被害者 20代女性

レストランで食事中、椅子の横に置いていたリュックサックを盗まれる。食事に夢中となっており盗難に気づかなかった。財布や iPhone などが被害にあった。

ケース 3

場所 オークランド・市内ホテル

被害者 50代女性

ツアーでオークランド旅行中。ホテルロビーで記念撮影している間に、バッグが行方不明に。盗難された模様。パスポート、財布、カメラ、メガネなどを盗まれ、予定通りに帰国できなくなった。

以上